

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成16年10月28日(2004.10.28)

【公開番号】特開2000-203671(P2000-203671A)

【公開日】平成12年7月25日(2000.7.25)

【出願番号】特願平11-302369

【国際特許分類第7版】

B 6 5 D 83/76

B 0 5 B 11/00

【F I】

B 6 5 D 83/00 K

B 0 5 B 11/00 1 0 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成15年10月14日(2003.10.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

噴霧器の前端がノズルで終端する排出通路を備えるポンプ本体と、それに連結して噴霧器を小出しにされるべき液体の容器に取付ける栓体手段と、前記ノズルに取付けられて、オンとオフ位置の間で軸方向の移動なしに前記通路と共に軸である中心軸の回りを回転し、該中心軸上に排出オリフィスを備え、また第1の対向する一対の平坦壁と、第2の対向する一対の平坦壁とを備え、前記第1と第2の一対の平坦壁が壁の対向縁に沿って接合されて、前記中心軸に沿う方向に伸びる長方形の本体の4つの隅部が形成されたノズルキャップとからなるトリガー作動ポンプ式噴霧器において、

- ・前記キャップと一体の少くとも1つの隆起部が前記キャップの後端から前端の方に伸び、また前記中心軸に対し半径方向の外側方向に伸びる前記隅部の1つに沿って配設され、
- ・前記少くとも1つの隆起部が前記後端から前端に向って高さが次第に減少し、
- ・前記少くとも1つの隆起部がリミットトップを提供して、該リミットトップに対して作業者の指が前記一方向もしくは他方向に回転する際に支承するように前記第1の対向する一対の壁もしくは第2の対向する一対の壁を掴む作業者により前記中心軸の回りで一方向もしくは他方向に回転中に前記少くとも1つの隆起部が前記ノズルキャップ上の滑り防止手段を形成することを特徴とするトリガー作動ポンプ式噴霧器。

【請求項2】

前記1つの隆起部が前記隅部の各々に沿って配設され、各隆起部がリミットトップを提供し、該リミットトップに対して作業者の指が前記一方向もしくは他方向への回転に際して支承することを特徴とする請求項1記載のトリガー作動ポンプ式噴霧器。

【請求項3】

前記ノズルキャップが前記隆起部と一体になった前記キャップの後端で前記壁の半径方向の外側方向に伸びる周辺の矩形フランジをさらに備え、前記フランジが前記一対の第1もしくは第2の壁の掴む時の前記キャップの軸方向におけるリミットトップを形成することを特徴とする請求項1記載のトリガー作動ポンプ式噴霧器。